

社会の勉強法

授業の受け方

- (1) 学習用具をそろえて授業にのぞむ。(教科書・ノート・資料集・ファイルなど)
- (2) 先生の説明は**集中して聞く**。(話し手に体を向ける。**話は目で聞く**)
- (3) 教科書や資料をよく読み、そして考え、何を意味しているかをつかむ。重要な用語や要点は、授業中できるだけ覚える努力をしよう。(メモする)
- (4) 発表するときは、みんなに聞こえるように話す。
- (5) 作業する(問題などに取り組む)ときは、私語はせずに集中して行う。



家庭学習の仕方

- (1) 予習
 - ①教科書の次の授業で学習するところを読み、「どんなことを学習するか」を知っておくと、授業がよくわかる。
 - ②疑問点や質問したいことをノートに書いたり、新しい用語などもわかる範囲で調べておくのもいい。
- (2) 復習
 - ①必ず教科書を読み、蛍光ペンなどでなぞろう。(読むだけでも効果がある)
 - ②キーワード(重要な語句)などをノートに写し、意味を調べたり覚えたりする。

テスト勉強の仕方

- (1) 地理
 - ①教科書を読みながら「どこに、何が、どのくらいあるか、なぜそうなっているか」を考え、地図にも印をつけて確かめる。
 - ②ノートに書かれた重要な地理用語を覚える。
 - ③統計やグラフなどから、その地域の特色を理解する。
- (2) 歴史
 - ①教科書をよく読み、「いつ・どこで・誰が・何をして・どうなった」を理解する。
 - ②歴史上の出来事については、「どんな原因で起こり、どんな結果になり、それがどんな影響を与えたか」という歴史の流れを考えながら学習する。
 - ③ノートに書かれた重要な歴史用語や人名、年号を覚える。
- (3) 公民
 - ①教科書をよく読み、現代社会の政治や経済のしくみを構造的にとらえる。
 - ②教科書の図表、グラフや統計、その他の資料も意味を理解する。
 - ③政治・経済・社会に関する用語を覚える。

受験勉強の仕方

- (1) 地理は、統計資料を地図と結びつけて理解します。重要用語、国名や都市名、県名や県庁所在地などは覚え、統計資料も、なぜそうなっているかを考えながら学習しましょう。
- (2) 歴史は、教科書にそって歴史の流れを意識しながら勉強します。入試では、承久の乱の後、朝廷と幕府の力関係はどのように変化したか?などと、前後の流れを理解しているかを問われます。
- (3) 公民は、教科書で基本的な語句を覚えながら、条文や制度の趣旨や意味を理解していきます。衆議院の優越が認められているのはなぜか、なぜ独占が悪いことなのか、なぜ景気が悪いときに公定歩合を下げるのか、単純暗記ではなく「なぜ?」を意識することが大事です。
- (4) 入試の傾向を知るために、受験問題集や過去の入試問題集はやっておきましょう。
- (5) 教科書で太字になっている語句は、重要語句です。漢字で書けるようにしましょう。
(入試にも毎年漢字を問う問題が出ます)